

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	15-024	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Web-based interventions to decrease alcohol use in adolescents: a Delphi study about increasing effectiveness and reducing drop-out.</p> <p>未成年におけるアルコール使用減少のための Web による介入：有効性を高めるかつドロップアウトを減らすことに関するデルファイ研究</p>		
執筆者		
Jander A, Crutzen R, Mercken L, De Vries H.		
掲載誌		
BMC Public Health. 2015 Apr 9;15:340. doi: 10.1186/s12889-015-1639-z.		
キーワード		PMID
デルファイ研究、アルコール使用、未成年、Web による介入		25881254
要 旨		
<p>目的： web を用いた介入は大多数を対象とすることが可能であり、健康リスク行動を効果的に変化させるが、ドロップアウト率が高いことが問題である。本研究では、16-18 歳の青年を対象とし、過度の飲酒を減少させるためにはどのような介入が有効かを検討する。</p> <p>方法： 本研究では専門家を対象とした次の 3 つのデルファイ調査を行った。①web を用いた介入戦略を自由回答にて調査、②①の介入戦略の重要性について評価、③ドロップアウトを減らす方法、以上について意見を求めた。なお、我々は、青年を対象とした介入と両親を対象とした介入を区別して調査した。</p> <p>結果： 専門家から回答された有効な介入戦略として、ルールを設定し両親へアプローチすること、コミュニケーションをとること、飲酒を拒否する訓練を行うことが挙げられた。ドロップアウトを減らす方法としては、適切な言葉かけやメッセージなど介入で用いる詳細な内容や、リマインドすること、飲酒の代替となるような誘惑 (映画のチケットなど)を提供することが重要とされた。</p> <p>結論： 本研究は探索的研究であり、今後、有効でドロップアウトが少ない介入の戦略を立てる際に役立つと考えられる。</p>		